

N響

～N響の端正、流麗、華麗な響きを聴く～

今年1月、指揮者なしの演奏スタイルによる「オール・モーツァルト・プログラム」で彩の国さいたま芸術劇場の音楽公演の幕開けを飾ったN響が、指揮者沼尻竜典、チェリスト向山佳絵子という実力派と共に再び登場する。



Ryusuke Numajiri,
Conductor

沼尻竜典(指揮)

1990年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝以来、着実に国内、ヨーロッパでの実績を重ねる。オペラから現代音楽まで、その的確な解釈には定評がある。現在、日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者。2007年4月よりびわ湖ホール芸術監督に就任。



Kaeko Mukoyama,
Cello

向山佳絵子(チェロ)

東京芸大を経て、ドイツリュベック国立音楽大学留学。1985年日本音楽コンクール第一位。1990年ガスバール・カサド国際チェロ・コンクール第1位。JTアートホール室内楽シリーズのプランナー、NHK-FM「おしゃべりクラシック」のパーソナリティ等の他、日本を代表する実力派チェリストとして活躍中。

NHK Symphony Orchestra, Tokyo

NHK交響楽団

1926年日本初のプロ・オーケストラとして結成。1951年NHK交響楽団と改称。世界一流指揮者を次々と招聘し、歴史的な名演を残している。2006年には創立80周年を迎え、年間約120回のコンサートを開催。1960年以降の定期的な海外公演、セミ・ステージ・オペラなどの斬新な企画、委嘱作品の充実、メジャー・レーベルとのCD録音など、その活動と演奏は国際的にも高い評価を得ている。



コンサートの幕開けはモーツァルトのディヴェルティメントK.136。イタリア旅行から戻った16歳の若き作曲家の瑞々しい感覚、イタリア的な明るさに満ちた愛すべき小品です。次のハイドンのチェロ協奏曲第2番は、古今のチェロ協奏曲の中でも指折りの名曲。晴朗な響きの中にちりばめられた技巧の華やかさがひととき印象的です。そして最後を飾る交響曲「イタリア」は、メンデルスゾーン作品の中でもとりわけ流麗な響きのすがすがしい人気作品です。

古典から現代曲まで幅広いレパートリーで高い評価を得ている沼尻と、豊かな音楽性と朗らかなキャラクターが魅力の向山を迎えて紡ぎ出されるN響の華麗な響きは、音楽ホールの空間に涼やかな風を運んでくれることでしょう。

N響 NHK Symphony Orchestra, Tokyo

【日時】 7月17日(月祝) 16:00 開演

【会場】 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】 モーツァルト:ディヴェルティメント 二長調 K.136
ハイドン:チェロ協奏曲 第2番 二長調 op.101 Hob.VIIb-2
メンデルスゾーン:交響曲 第4番 長調 op.90 「イタリア」

【出演】 指揮/沼尻竜典 チェロ/向山佳絵子

管弦楽/NHK交響楽団

【チケット(税込)】一般 S席 6,000円 A席 5,000円 学生席 2,000円
メンバーズ S席 5,400円 A席 4,500円

パリ管弦楽団首席奏者が贈る優雅で華麗なフレンチ・ブラス・サウンド!

パリ管弦楽団ブラス・クインテット

Quintette de Cuivre de l'Orchestre de Paris



世界最高のオーケストラの1つとして絶賛されている名門、パリ管弦楽団。このオーケストラの首席ソロ奏者が集まり結成された「パリ管弦楽団ブラス・クインテット」は、今回が初来日。伝統の名に恥じない音楽性、そして優雅で輝きのあるフレンチ・ブラスの響きは聴衆を魅了するに違いありません。

演奏する曲目は、フランス音楽を中心とした作品の数々。ドビュッシーのような可愛らしい小品から、誰もが耳にしたことのあるフレンチ・カン・カン。そして壮大なスケールで展開される映画音楽。彼らの奏でる華麗な響きを存分に楽しみください。

パリ管弦楽団ブラス・クインテット

【日時】 9月3日(日) 15:00 開演

【会場】 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】 ジェルヴェーズ:ルネサンスのフランス舞曲集
ドビュッシー:亜麻色の髪の乙女/小さな黒人
フォーレ:パヴァーヌ
ドルリュ:金管五重奏曲「ステンド・グラス」
オッフェンバック:フレンチ・カン・カン
ビゼー:「カルメン」第1組曲
フレンチ・シャンソン～ミッシェル・ルグラン、シャルル・トレンの作品より～

【出演】 トランペット/フレデリック・メラルディ

トランペット/ブルーノ・トンバ

ホルン/アンドレ・カザレ

トロンボーン/ギヨーム・コテ＝デュム＝ラン

チューバ/ステファン・ラベリ

【チケット(税込)】一般 S席 4,000円 A席 3,000円 学生席 1,000円
メンバーズ S席 3,600円 A席 2,700円

【発売日】メンバーズ 6月10日(土) 一般 6月17日(土)

フレデリック・メラルディ(トランペット)

Frédéric Mellardi



パリ国立高等音楽院をブルミエ・プリを得て卒業後、リヨン国立歌劇場管弦楽団の首席ソロ・トランペット奏者となる。1997年より、パリ管首席ソロ・トランペット奏者。ポルチア(PORCIA)国際トランペットコンクール(イタリア)1位受賞。

ブルーノ・トンバ(トランペット)

Bruno Tomba



14歳の時にナンシー国立音楽院で1位を受賞、16歳でフランス東部地方の音楽院統括コンクールで1位を受賞。1985年パリ国立高等音楽院で満場一致のブルミエ・プリを受賞。1992年より、パリ管首席ソロ・トランペット奏者。フランス国内及びヨーロッパ各国にて様々なグループとソロ演奏活動を展開。

アンドレ・カザレ(ホルン)

André Cazalet



パリ国立高等音楽院にて2つのブルミエ・プリを受賞。アンサンブル・アンテルコンタンボランのソリストを経て、1980年より、パリ管首席ソロ・ホルン奏者。同時に、各地でのソロ演奏活動を展開。また、世界各国から招かれ教鞭を執っている。1985年より、パリ国立高等音楽院教授。

ギヨーム・コテ＝デュム＝ラン(トロンボーン)

Guillaume Cottet-Dumoulin



10歳の時にユーフォニアムを始める。1996年パリ国立高等音楽院でユーフォニアムと室内楽においてブルミエ・プリを受賞。1995年にトロンボーンを始め、同音楽院でブルミエ・プリを得て卒業。2001年より、パリ管首席ソロ・トロンボーン奏者。

ステファン・ラベリ(チューバ)

Stéphane Labeyrie



トゥールーズ音楽院を経て、15歳の時にリヨン国立高等音楽院に入学。同音楽院で満場一致のブルミエ・プリを受賞。1995年シドニー国際チューバコンクールをはじめ、数々のコンクールで受賞。1999年より、パリ管首席ソロ・チューバ奏者。